

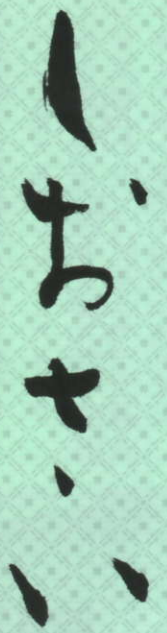
金沢区文化協会設立6周年記念 歴史講演会

金沢区文化協会6周年記念事業 歴史講演会 金沢八景の遊覧

幕末・明治から昭和初期までの金沢八景遊覧



金沢区文化協会会報



金沢区文化協会

編集人 岩瀬 昭二
広報部長

☎ 701-0795

発行人 助川 信彦
会長

☎ 781-9337

平成十二年十二月二日(土)金沢公会堂において金沢区文化協会設立六周年記念事業として、歴史講演会「金沢八景の遊覧」が開催されました。

講師は金沢の歴史史料コレクターとして知られる楠山永雄氏(金沢区の文学と歴史愛好会会長)でスライドを使つての講演でした。同氏のコレクションは金沢文庫の資料展をはじめ、図説「かなざわの歴史」など各方面に提供されています。文化協会助川会長の挨拶のあと、映写が始まり、百枚余のスライド一枚一枚に楠山さんの解説が流れました。

江戸時代中期の元禄七年、中国の心越禅師が能見堂を訪れ、故国の瀟湘八景に因んで「小泉の夜雨」「平瀉の落雁」など、金沢の地名をつけて能見堂八景詩を詠みました。これが基となって金沢八景の名が成立したと云われています。

八景として有名になった金沢は、次第に訪れる文人墨客も増え、その紀行文が更に金沢の名を広めました。広重をはじめ多くの浮世絵師たちの絵図によって景勝地金沢八景の名は不動のものとなりました。江戸文化の爛熟期といわれた文化・文政の頃は、江戸庶民の生活水準が向上して社寺参詣や物見遊山が流行。仲間たちで大山講をつくり、江戸から大山に詣り、江の島・鎌倉をまわって朝比奈切通しを越えて金沢に遊び、旅程も費用も手頃な4・5泊の旅行で人気の高い観光地でした。東屋・千代本などの旅亭が大いに賑わいました。

平瀉湾に臨む小高いところに金竜院九覽亭があり、八景を眺める景勝地として有名でした。ここは金沢八景に富士山をプラスして九覽亭と名付けられました。能見堂からの眺望は泥亀新田埋立てで次第に悪くなり、九覽亭が立地・眺望とも抜群で金沢観光の主役を占めていました。また船の遊覧も人気の遊び方で、芸者をはべらせた屋形船で夏島などを廻るコースです。

風光を楽しむだけでなく、金沢には称名寺や瀬戸神社など古い歴史を持つた寺社や史跡が多い。幕末から明治、そして昭和初期にかけて金沢の寺社や旅館は観光客を誘致するため金沢一覽絵図や絵葉書ガイドブック類が驚くほど多く刊行されています。

泥亀の牡丹も有名でした。ここは、のちに大橋新太郎氏の八景園の牡丹園に引き継がれました。金沢区の「区の花」が牡丹なのはこれに由来するそうです。昭和五年湘南電鉄が開通し、金沢文庫も再興されました。翌年には乙船に海水浴場が開設され、これはずみとして地元業者も観光客の誘致に積極的でした。しかしその年に満州事変が起き、軍事一色となり太平洋戦争に突入してしまいました。

平成の今、八景島が人気を呼んでいます。楠山さんは伝統ある観光金沢の復興を期待したいと話を結びました。次々と映し出される昔の金沢の姿に食い入るように見つめていた二百数十人の拍手の中、四時半終了しました。

クリスマスコンサート開催



昨年十二月十七日(日)金沢公会堂に於いて、'00クリスマスコンサートが文化協会主催・金沢区役所後援のもと開催されました。

正面にはクリスマスツリー、手工芸木村・絵画枇杷橋理事の手づくりの協力で横にキリスト誕生のお人形をセット、後に雪の降る馬小屋の絵が飾られました。

午後二時、氏家理事の司会で開会、助川会長の挨拶のあと朝比奈小学校特別音楽クラブの演奏から始まりました。後藤先生の指揮のもと、慎吾ママの「おはロック」からライオンキングまで、小学校三年から六年生まで六十名の演奏です。小学生とは思えぬほどの見事さは県代表にたびたび選ばれた実力の証明です。

第二部は小田中学校吹奏楽部です。原先生指揮のもと、童謡メドレーやベートーベンの第九をアレンジしたリングインザジョイなど、受験で参加の少ない三年生に代わり一・二年生で、全員女子学生の熱い演奏が場内に流れまし

た。一糸乱れぬ鮮やかなものでした。休憩ののち、待望の横浜市消防局音楽隊の登場です。関係者のご努力でようやく出演の運びとなりました。朱のブレザーもあざやかな六十名の大編成です。喜歌劇「こうもり」序曲・スケーターズワルツ・赤鼻のトナカイなど、クリスマス曲を演奏しました。さすがに四十年以上の歴史の音楽隊、その迫力はすばらしく、約一時間会場の聴衆を酔わせました。

PIAフェスタ

写真部参加



昨年十月十三日から十五日まで、金沢産業団地で2000PIAフェスタが開催されました。産業団地では毎秋フェスタが開か



昨年十月十八日より二十二日まで、第十二回金沢区民文化祭区民の作品展が文化協会主催のもと開催されました。例年どおり書道・絵画・写真・文芸・手工芸部門の出

第12回 金沢区民文化祭 区民の作品展

品で、どの部門も出品点数がふえ、内容も充実してきました。作品展後半の華道展は、昨年までお花のバックに地区センターの展示用パネルを並べていました。これでは華道展の雰囲気には合わないので、今年は白布に変えました。これが効果てきめん明るい会場となりました。茶道会のお茶会も昨年にもまして盛況であり、特に地区センター中庭の特設テントで、お茶席の作法の実地指導が非常に好評でした。児童アート教室も六回目を迎え氏家理事を中心に作品展会場の一角にて開かれました。

第二回 金沢区児童生徒 席書大会

金沢区書道協会と文化協会の共催で第二回金沢区児童生徒席書大会が、昨年十一月二十六日金沢地区センター体育館で開かれました。

今年には中学生が学期末の試験の閑暇で不参加となり、小学・高校生四十八名の参加でした。主な表彰者は次のとおり。(金沢区長賞)根本尚子・池田裕太郎 (文化協会々々賞)松田直樹・佐々木温・志村旺保 宮坂秋帆・杉本真梨奈

第九を歌う

音楽の
つどい
20周年



トラは「横浜管弦楽団」ところが出演申込みが二七人にも達し、練習場に入り切れず各パート毎に分散練習をすることになり、ようやく九月から公会堂の空いた場所とか産業振興センターのホールを借りて、オケ合わせを三回行いました。

さてその演奏会は金沢公会堂で十月二十二日(日)、各グループ毎の発表のあと午後三時からの第二部が第九です。公会堂の舞台一杯に男声五十名、女声百六十七名が整列しました。観客席の前のホールに横浜管弦楽団、ソリスト四名の出演者です。二百人を超す出演は公会堂始まって以来の初のケースです。

客席も超満員、公会堂としても近來稀に見る盛況でした。第九の合唱はすばらしい迫力であり拍手が鳴り止みませんでした。タウンテレビでも繰り返し放映されましたので、ご覧になられた方も多いと思います。

終了後、出演の方々が「感動した」と話され、観客も「地元で第九が聴けて幸せだった」と賛辞をいただいたとのこと。

なお東洋信託文化財団より助成金をいただき、関係者・出演者のご協力で大イベントが終了しました。

文化協会 行事予定

4月15日 金沢地区センター 金沢茶道会春季茶会	(781) 9634	6月24日 第3回 金沢区民俳句大会	(781) 9134
5月13日 金沢地区センター 金沢区文化協会定時総会	(701) 2308	7月29日(日) 金沢公会堂 第2回 金沢区民歌謡祭	(783) 5479
5月12日・26日 金沢地区センター 第3回 手づくり絵本教室	(783) 3962	9月中旬 東洋信託銀行 第3回 初心者レベルアップ写真教室	(701) 0795

第2回称名寺芸術祭参加 “称名寺写真展”



平成11年から、称名寺の境内を中心に、フリーマーケットや音楽会など「称名寺芸術祭」がはじまりました。

昨年10月の第2回には文化協会写真部所属「金沢フォトクラス」が参加しました。10月2日より月末までの1ヶ月間、ユニー前の東海銀行のロビーで「わたしたちの称名寺」写真展を開催。金沢の名刹を全員で撮った28点で、来店の方々にご好評をいただきました。文化協会は今後とも区内の文化活動に協力していくつもりです。

第二回短歌大会開かれる

昨年十月二十九日午後金沢地区センターで第二回金沢区民短歌大会が開かれました。

参加者六七名。最初に水薺同人の菊地良江先生の講話「晩年の尾上柴舟」があり、参加者の一三首の作品の講評と入選歌の発表があった。

- 金沢区民歌人会会長賞 秦正子
老姑のすがりつく手の強ければ
なほも確かな生命を知りぬ
- 金沢文化協会会長賞 米良百合子
照明に映し出されし丹の橋が
寺池の面に輪のごとく浮く

称名寺俳句大会開催

文芸部金沢俳句会では、昨年十一月十二日(日)秋の称名寺周辺俳句大会を金沢文庫内会議室で開きました。

午前中、称名寺境内を散策しながらの句作を一人二句投句、午後は会議室で「北条実時」のスライドを観覧、そのあと投句の互選の結果、次のとおり優秀句が選ばれました。

- 古文書の息づく庫や小六月 北野清一
- 冬日中仁王の口のゆるびたり 坂本栄子
- 反り橋を池の要に黄落す 小山紫乃布

小学校訪問演奏 金沢三曲会



文化協会 所属金沢三曲会が一月二十二日(月)六浦小学校で「小学校訪問演奏」(邦楽演奏と邦楽器実技指導)を行い、タウンテレビ南横浜提供

の取材も入りました。創立二十三年の歴史を持つ金沢三曲会は定期演奏会など活発な活動を

第二回 「吟と舞の祭典」 盛大に



金沢区吟 剣詩舞道連盟主催の「第二回吟と舞の祭典」が昨年十一月二十三日金沢公会堂で開かれました。

一年前の連盟創立大会は盛況裡に終了しましたが、吟詠ばかりでなく、区民がもつと楽しめるも

しておりますが、小学生に邦楽を楽しんでもらうため、標記の事業を始めました。無償で演奏を行い、楽器に実際に触れて関心を持ってもらおう趣旨です。「明治以降洋楽一辺倒でなおざりにされてきた邦楽ですが、日本の伝統音楽なのだから大切にしたいです」(佐野会長)

平成八年、金利谷東小学校と小田小学校の二校より始まり、現在九校の小学校で訪問演奏を行っております。ご希望の小中学校がございましたら金沢三曲会 佐野とき子(〇四五七八一・一四八三)までご連絡下さい。

のを見せたいとの意向で、今回は吟詠・剣詩舞の合間に、特別番組として九郎判官義経の悲劇「乳を求むるの声」(脚本・演出北川夫龍)を上演しました。吟詠と舞を中心にストーリーを構成、出演者の衣裳や小道具が照明に映えて、美しい舞台となりました。劇中、文化協会ひまわり会の皆さんの唱歌「青葉の笛」のコーラス。舞台に華を添えました。また、書道吟という吟詠に合わせて、書家が筆を振る、同時に終わらせるなど観客を喜ばせました。

第2回 初心者レベルアップ写真教室

一昨年九月に引き続き、昨年も文化協会主催で第二回の初心者写真教室が開かれました。文庫駅前の東洋信託銀行の会議室を借用、九月十二日と十九日の二回、計四時間の勉強でした。

コンパクトカメラや一眼レフカメラの取扱いの注意点や、カメラの構え方・人物や風景の撮り方・構図の常識など解説しました。

受講者十五名の方々には今後ともカメラに親しんでいただきたいものです。

理事会だより

- 12・9・13 区民文化祭準備状況報告。区民歌謡祭報告・金沢茶道会20周年特別茶席計画。
- 10・11 上半期会計報告。12・2 歴史講演会のPR方法・称名寺芸術祭参加写真展(フォトクラブ)。産業団地PIAフェスタに写真部参加。
- 11・15 区民文化祭作品展報告。音楽のつどい20周年盛況報告。産業団地との交流促進のため初心者写真教室を1月より実施。
- 12・13 クリスマスコンサート進行状況。吟剣詩舞大会報告。理事増員検討。
- 13・1・17 文化ホール建設陳情に会長・事務局長(12・25市民局長。産業団地写真教室発足。史跡保存(畠山重忠)プレート設置決定。13年度事業計画を1月末まで提出。
- 2・14 黒川議員出席文化ホール建設運動現状報告。文化講演会(3・25)「漢方と気功と人」と進行状況。定時総会は5月13日(日)決定。次年度は会員間の交流と団体会員の増強をめざす。

賛助会員芳名簿 (五十音順)

飯吉玲子
岩瀬博愛
関東学院大学
金沢金融懇話会
金沢区三師会
金沢区食品衛生協会
金沢区身体障害者福祉連合協会
金沢文庫称名寺芸術祭
金沢民謡舞踊普及会
小泉啓治
幸栄印刷(株)
(有)翠祥園
(有)高松写真商会
横浜市金沢団地協同組合
横浜市立大学

編集後記

十数年ぶりの寒い冬がようやく終わります。今号もイベントを多く載せられました。文化協会の着実な歩みを感じられます。

編集委員 岩瀬昭二・森川淳子・佐野史瑞子 後藤政也・氏家総子